

先進事例報告①

島根県雲南市における 訪問看護による地方創生 『コミケア』



ケアプロ株式会社

最終更新日	2016.01.08
バージョン	1.0

我が国と雲南市



内閣府は地方創生を目的に、まち・ひと・しごと創生法を策定。
4つの基本目標を定めました。

地方自治体を主体に、地域における課題解決を図る。

＜基本目標①＞ 地方における安定した雇用を創出する
→ 地域医療モデルにおける若手看護師の新たな雇用の創出

＜基本目標②＞ 地方への新しいひとの流れをつくる

＜基本目標③＞ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

＜基本目標④＞ 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る とともに、地域と地域を連携する
→ 住み慣れた家で最期まで過ごすことのできる地域づくり

島根県雲南市とは

雲南市は島根県の内陸部、北東側に位置します。高齢化は、日本においても最高の状況です。

人口:41,927人(平成22年国勢調査)

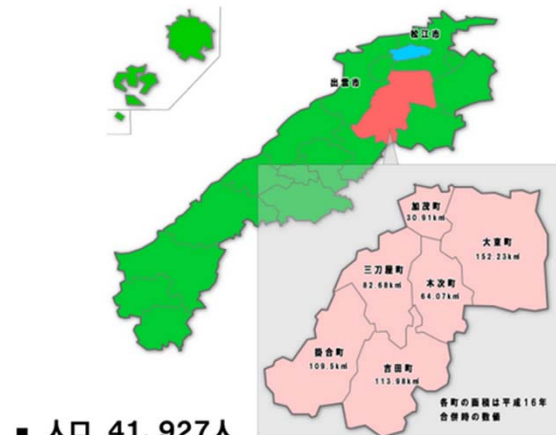
世帯数 12,908世帯 うち65歳以上独居世帯1,281(10%)および二人暮らし世帯は1,426(11%)

高齢者数13,990人、高齢化率**35.8%**、うち被要介護認定者数**1,963人(14%)**、

被要支援認定者数**453人(3%)**

雲南市の現状

雲南市の地勢等



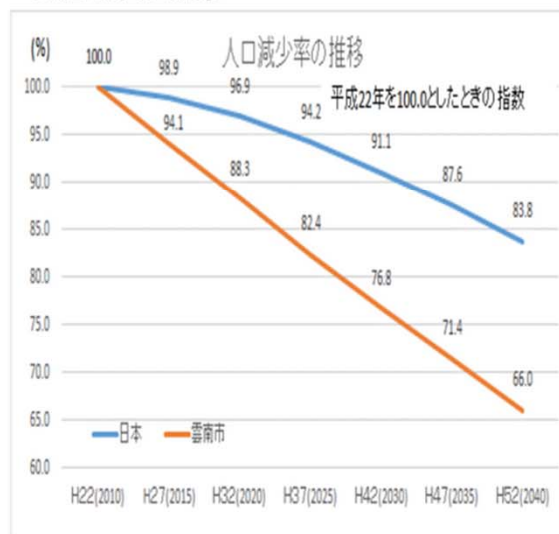
H16.11.1 誕生
今年で10周年！！

3

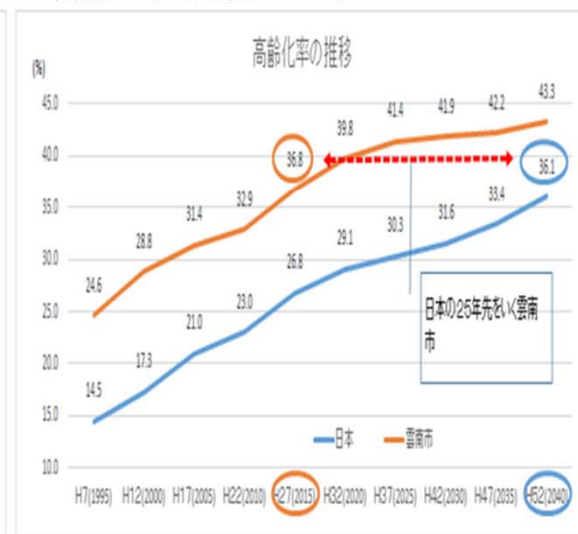
雲南市の現状 日本の25年先の高齢化社会をいく雲南市

人口減少、高齢化の動向

○進む人口減少



○ 高齢化率は全国トップランナー



4

進む少子高齢化社会

- 高齢化率35.8%
- 雲南市は要介護度が全国と比べ高い
- 働く若者世代の流出
- 老老介護、独居老人の増加
- 開業医の高齢化に伴い往診医がいない

若手医療職種の不足

- 訪問看護師の不足
(人口1万人対1.9人)
- 若手医療職種が少ない
- 地域で働くことのメリットが少ない
- 開業医の後継者がいない



現状のまま
行くと

- ◆ 社会保障費の高騰
- ◆ 担い手がないため地域医療の崩壊
- ◆ 住まう場所として選ばれない土地に

UIターン若手看護師3人による 地域医療課題へのチャレンジ！！

チャレンジまでの経緯

病院には帰りたくても帰れない人たちがいた・・・

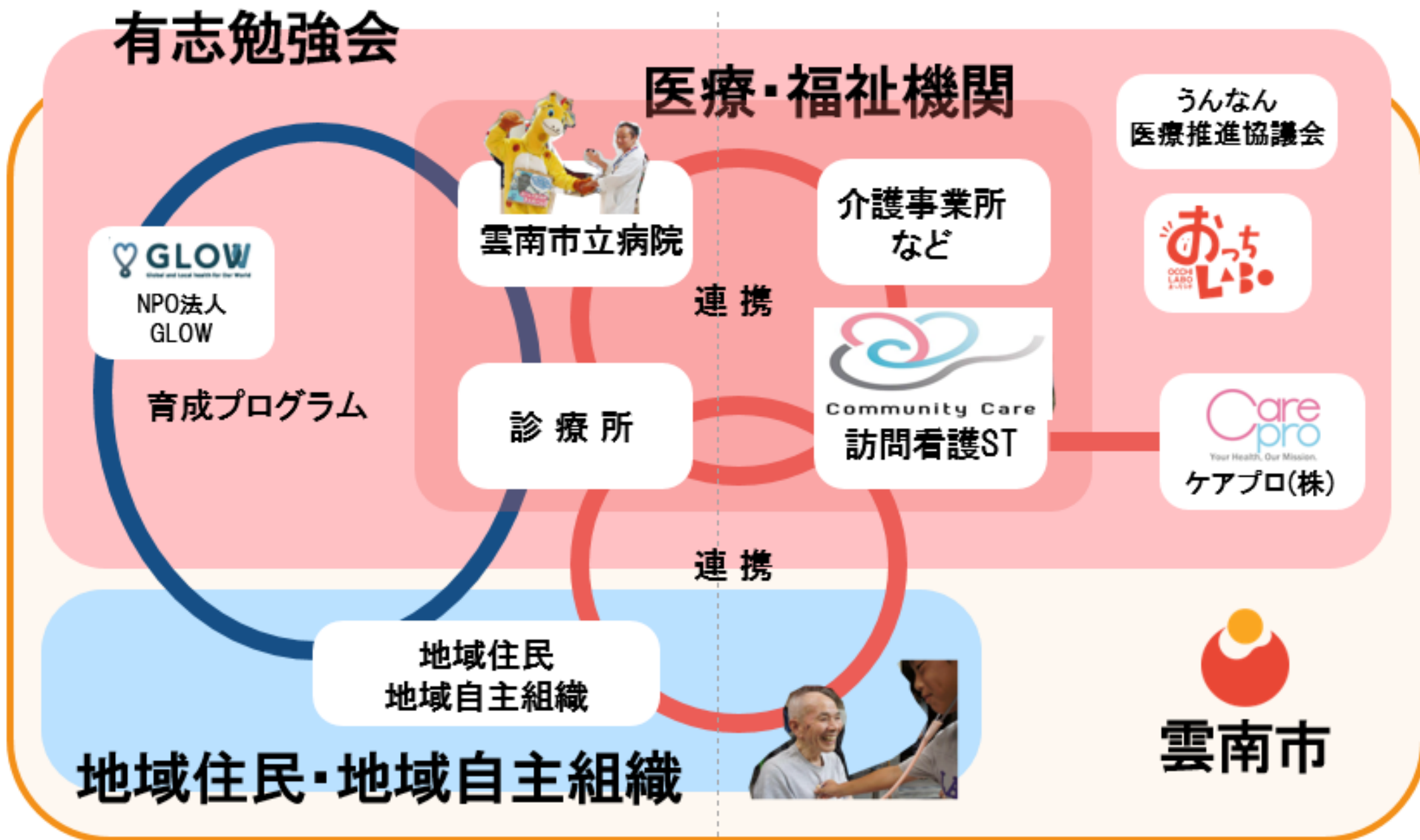
病院は治療をする場所。

今度は、生活の中に必要な医療を届けてあげたい。



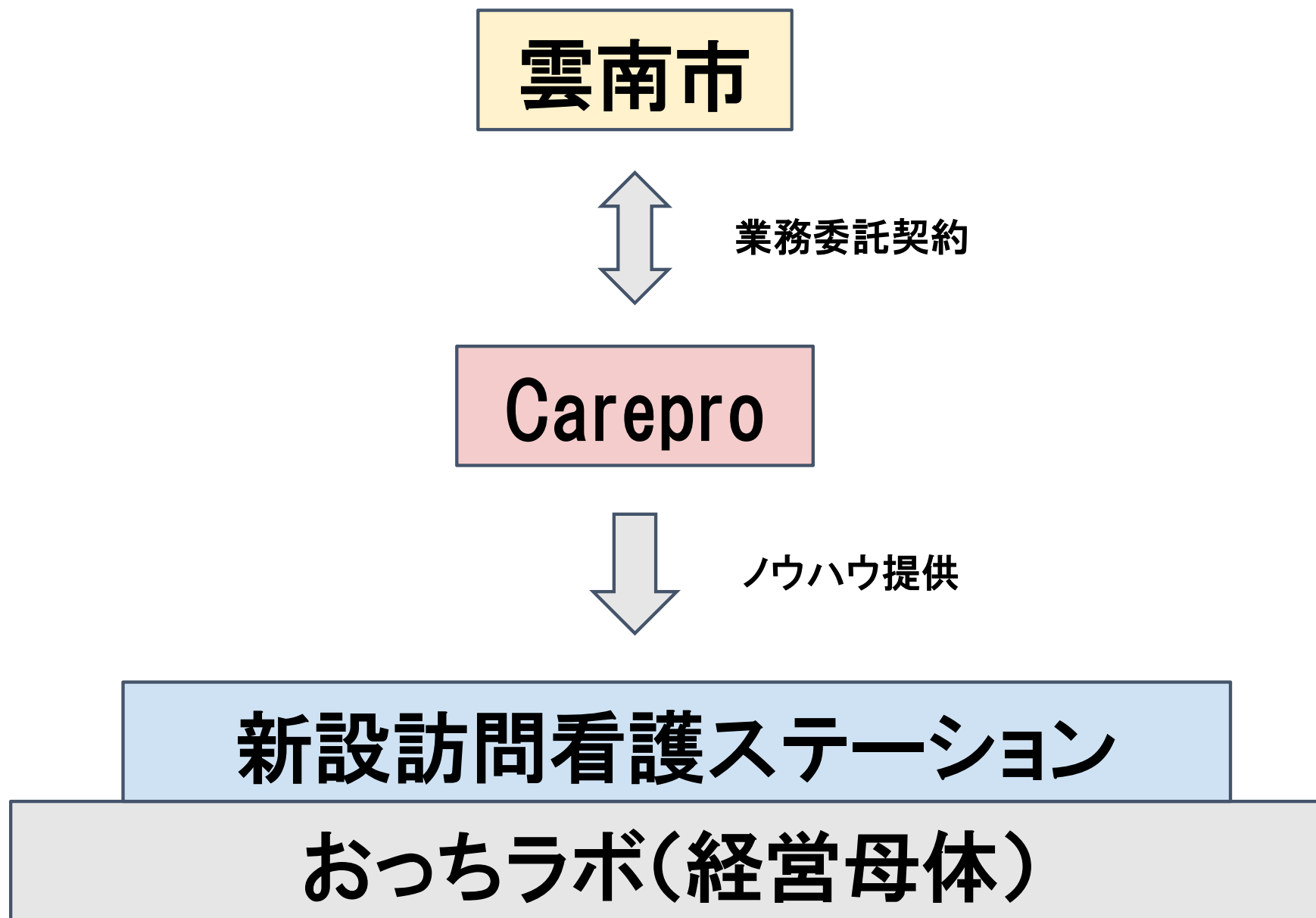
**大切な人と住み慣れた場所で
少しでも長く
幸せな時間を過ごせるように。**





雲南市へのノウハウ提供

市からの委託を受け、おっちラボ及びその訪問看護ステーションへ、ノウハウを提供します。



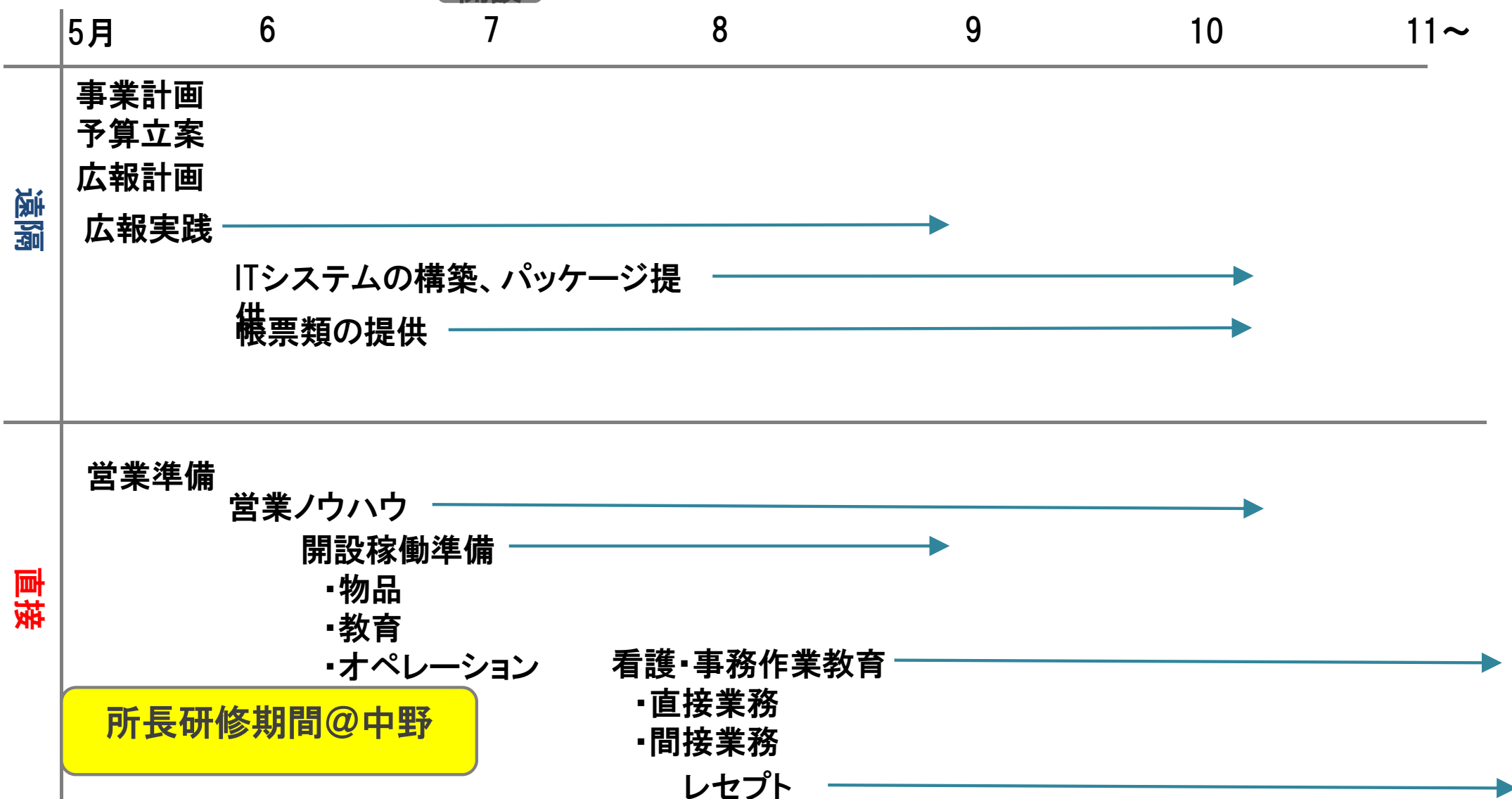
市からの委託を受け、おっちラボとその訪問看護ステーションへ、ノウハウを提供します。

創業支援	運営支援
・運営マニュアル及び、業務手順書の提供 ・教育PGとその帳票提供 ・所長教育研修(3ヶ月) ・開業前後ノウハウ提供 ・業務IT化ノウハウ提供 ・ロゴ商標提供	・マニュアル継続提供 ・教育PG継続提供 ・レセプト請求関係相談支援、ノウハウ提供 ・IT関連ノウハウ継続提供 ・ロゴ商標提供 ・遠隔相談対応

創業時の遠隔支援と直接支援

遠方からの支援と、直接の支援に分けられます。

開設



看護業務:管理業務は、2:8の割合で行います。所長とのOJTが基本です。

5/1

6/1

7/1

現場

所長同
行
40～50

所長同行
20～30

所長同行
20～30

管理

基礎
・開設書類
・基本届け出等
帳票
シフト

人事・労務関係
評価・処遇
教育
会計・レセプト

営業
会計・レセプト
監査

実績

実際の様子

ケアプロでの研修@中野本店



空き家をDIYでリノベーションし、訪問看護ステーションへ



ついにオープン！ @2015/7/1



COPYRIGHT Carepro, Inc. ALL RIGHTS RESERVED.

ステーション1階をサロンに。 地域自主組織の寄り場になり、 健康教室を開く



開設まで

4月

地域ニーズ調査

県内の看護学生を中心とした
ボランティアチームの結成

- ・サロンでの聞き取り調査4回
- ・学生によるサロン活動1回
- ・三刀屋地域の地区診断実施



事務所開設準備



- ・ボランティアチームが改修作業
- ・空き家を活用
地域自主組織と障害者就労支援
との3団体で使用。
多機能な地域交流の場所へ

5月

6月

訪問看護サービス 提供準備



- ・事業計画
- ・研修会の参加・勉強
- ・市内外で訪問看護研修
- ・地域の病院や介護事業所
への挨拶、営業活動など

7月1日

訪問看護ステーションオープン！

目指す姿

みんなでつくる「幸せな人があふれるまち」

理念

たくさんの幸せな瞬間をプロデュースする

行動規範

- ▼チームを創造せよ
- ▼セルフケアを向上せよ
- ▼柔軟な働き方を実現せよ



開設後

◆ 訪問看護サービスの提供

継続的な研修・学習・ケアプロによるOJT
関係機関との顔の見える関係を築く

◆ 若手医療職種のチームを創造

若手を中心とした参加型学習会の開催
地域医療に関するイベントの開催

◆ 地域と繋がり、地域のニーズを知る

地域のサロン活動へ出張
訪問看護や在宅医療の啓発活動
健康相談・介護相談
地域自主組織、健康推進員との交流
コミケア新聞の発刊と回覧



訪問看護で在宅療養が可能に

- ・ 利用者延べ 25人
（75%が山間部の三刀屋・掛合・吉田エリア）
- ・ 在宅でのお看取り1件
- ・ がんの末期の方が訳4割を占め、
医療依存度の高い方が自宅に戻っている
- ・ 支援開始1年以内に、単月黒字達成見込み



住民との交流が広がってきている

- ・ サロン出張健康相談・介護相談8回
- ・ サロンでの健康教室開催3回
- ・ サロンでの訪問看護説明依頼などがきている
- ・ 幸雲南塾で共感賞・最優秀賞受賞



開設後の成果

開設後 5 ヶ月目（12月）

課題意識のある若手医療職が集ってきた

- 他職種での参加型学習会の開催 2 回
- 地域医療課題を中心としたイベント

参加者 30～60人/回

病院看護師、ケアマネージャー、介護職、
リハビリなど、施設・職種・地域を越えて参加



地域医療に興味を持つ若手が集ってきた

- 学生のサロン参加 3 回
- 地域の医療職、大学生、地元の高校生など
訪問看護同行訪問や見学受け入れ 8 名
- 学生のイベント参加



今後

2016年度のチャレンジ

管理者教育と事業規模拡大できる仕組み作り

教育者教育と人事制度構築によりキャリアアップできる仕組み作り

＋雲南市以外での経営支援